第八回課題解説.

● 課題 1:ロピタル計算の練習.

(1)

$$\lim_{x \to \frac{\pi}{2}} \frac{\cos x}{\pi - 2x} \stackrel{\frac{0}{0}}{=} \lim_{x \to \frac{\pi}{2}} \frac{-\sin x}{-2} = \frac{1}{2} \quad \text{for} \quad \lim_{x \to \frac{\pi}{2}} \frac{\cos x}{\pi - 2x} = \lim_{x \to \frac{\pi}{2}} \frac{\sin(\frac{\pi}{2} - x)}{2(\frac{\pi}{2} - x)} = \frac{1}{2} \; .$$

(2) r > 0 とする.

$$\lim_{x\to\infty}\frac{\log x}{x^r}\stackrel{\frac{\infty}{=}}{=}\lim_{x\to\infty}\frac{\frac{1}{x}}{rx^{r-1}}=\lim_{x\to\infty}\frac{1}{rx^r}=0\ .$$

(3) n は自然数とする.

$$\lim_{x \to \infty} \frac{x^n}{e^x} \stackrel{\underline{\infty}}{=} \lim_{x \to \infty} \frac{nx^{n-1}}{e^x} \stackrel{\underline{\infty}}{=} \dots \stackrel{\underline{\infty}}{=} \lim_{x \to \infty} \frac{n!}{e^x} = 0.$$

(4)

$$\lim_{x \to +0} x^x = \lim_{x \to 0} e^{x \log x}$$

であり、 e の肩に乗っているものを取り出すと

$$\lim_{x \to 0} x \log x \stackrel{x=1/y}{=} - \lim_{y \to \infty} \frac{\log y}{y} \stackrel{\underline{\infty}}{=} - \lim_{y \to \infty} \frac{\frac{1}{y}}{1} = -\lim_{y \to \infty} \frac{1}{y} = 0$$

だから、問題の極限はこれをeの肩に戻してeである.

$$\lim_{x \to \infty} x^{\frac{1}{x}} = \lim_{x \to \infty} e^{\frac{\log x}{x}}$$

であり、 e の肩に乗っているものを取り出すと

$$\lim_{x \to \infty} \frac{\log x}{x} \stackrel{\underline{\infty}}{=} \lim_{x \to \infty} \frac{\frac{1}{x}}{1} = \lim_{x \to \infty} \frac{1}{x} = 0$$

だから、問題の極限はこれをeの肩に戻して1である.

課題 2:教科書の問 7.2. (1)

$$\lim_{x \to 0} \frac{x - \tan x}{x^3} \stackrel{\frac{0}{0}}{=} \lim_{x \to 0} \frac{1 - (\cos x)^{-2}}{3x^2} \stackrel{\frac{0}{0}}{=} \lim_{x \to 0} \frac{\frac{-2 \sin x}{\cos^3 x}}{6x} = -\frac{1}{3} \lim_{x \to 0} \frac{1}{\cos^3 x} \frac{\sin x}{x} = -\frac{1}{3} \cdot 1 \cdot 1 = -\frac{1}{3}.$$

(2) $y = \arctan x$ とおくと $x - \arctan x = \tan y - y$ なので $\frac{x - \arctan x}{x^3} = \frac{\tan y - y}{\tan^3 y}$ である. よって

$$\lim_{x\to 0}\frac{x-\arctan x}{x^3}=\lim_{y\to 0}\frac{\tan y-y}{\tan^3 y}=\lim_{y\to 0}\frac{\tan y-y}{y^3}\bigg(\frac{y}{\tan y}\bigg)^3=\lim_{y\to 0}\frac{\tan y-y}{y^3}\bigg(\frac{y}{\sin y}\cos y\bigg)^3$$

する.

$$\frac{1}{\sin^2 x} - \frac{1}{x^2} = \frac{x^2 - \sin^2 x}{x^2 \sin^2 x} = \frac{x^2 - \sin^2 x}{x^4} \frac{x^2}{\sin^2 x} = \frac{x - \sin x}{x^3} \frac{x + \sin x}{x} \frac{x^2}{\sin^2 x} \to 2 \lim_{x \to 0} \frac{x - \sin x}{x^3} \quad (x \to 0)$$

だから問題の極限計算は

$$2\lim_{x\to 0}\frac{x-\sin x}{x^3}$$

の計算に帰着する. これはロピタル計算できる形である:

$$2\lim_{x\to 0}\frac{x-\sin x}{x^3}\stackrel{\frac{0}{0}}{=} 2\lim_{x\to 0}\frac{1-\cos x}{3x^2}\stackrel{\frac{0}{0}}{=} 2\lim_{x\to 0}\frac{\sin x}{6x} = 2\times\frac{1}{6} = \frac{1}{3} \ .$$

- (4) $\lim_{x \to 0} (\cos x)^{1/x^2}$ は 1^∞ の不定形. e の肩の上での出来事に書き換える(対数をとる)と $\lim_{x \to 0} e^{\frac{1}{x^2}\log\cos x}$ となる. $\lim_{x \to 0} \frac{\log\cos x}{x^2} \stackrel{0}{=} \frac{-\sin x}{\cos x} = -\lim_{x \to 0} \frac{1}{2} \frac{\sin x}{x} \frac{1}{\cos x} = -\frac{1}{2}$. よって問題の極限は $e^{-\frac{1}{2}}$ である
- (5) $\lim_{x\to\infty}\frac{x^n}{e^x}$ は $\frac{\infty}{\infty}$ の不定形. 分母分子を n 階微分するとロピタルの定理より $\lim_{x\to\infty}\frac{n!}{2^x}=0$ である. (別解) $f(x)=x^{n+1}e^{-x}$ とおくと $f'(x)=x^n(n+1-x)e^{-x}$ だから f(0)=0, f(x) は 0< x<1 で狭義単調増加, n< x で狭義単調減少である. よって x>0 のとき $0< f(x)=x^{n+1}e^{-x}\leq f(n+1)=(n+1)^ne^{-n-1}$ である. よって $0< xe^{-x}<\frac{f(n)}{x}\to 0$ ($x\to\infty$) である. はさみうち原理より $\lim_{x\to\infty}x^ne^{-x}=0$ である.
- •課題3.理由はたくさんある.以下はそれらの一例に過ぎない.
- (1) $e^x=f(x)$ となる多項式 f(x) が存在しない理由.例えば, $\lim_{x\to -\infty}e^x=0$ となるが,n 次多項式 f(x) は $f(x)=x^n(a_0+a_1/x+\cdots+a_n/x^n)$ と表すことにより $\lim_{x\to \infty}|f(x)|$ は必ず ∞ に発散する.よって e^x は 多項式になり得ない.

他にも,ロピタル計算から如何なる n に対しても $\lim_{x\to\infty} \frac{x^n}{e^x}=0$ になってしまうことからも, e^x は多項式でないことがわかる.

(2) $\sin x = g(x)$ となる多項式 g(x) は存在しない理由. (1) と同じ議論が可能である.

他の議論としては $\sin x = 0$ は無限個の解を持つ(π の整数倍は全てこの方程式の解である)が,n 次多項式 = 0 の解は n 個を超えない.よって $\sin x$ は多項式になり得ない.